

令和6年度 町政執行方針

『新たな未来へ「挑戦」と「前進」』



白老町長
大塩 英男

令和5年3月に町長に就任してからこれまで、町民の皆さまや関係団体の温かいご支援ならびに議員の皆さまのご指導のもと、「共感ひろがる 信頼のまちづくり」そして第6次総合計画に定める将来像「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」を基本姿勢として、多くの課題解決に傾注してまいりました。

今後その姿勢を忘れることなく、議論と対話を深め、町民の皆さまが幸せを実感できるまちづくりを進めてまいります。

6年度におきましては、町制施行70周年を迎える節目の年であることから、『新たな未来へ「挑戦」と「前進」』をテーマに、白老町のさらなる飛躍に向け、取り組みを進めてまいります。

◇町政に臨む基本姿勢◇

『人口減少を食い止めるための「挑戦」と「前進」』

『町民生活の利便性向上、安全安心の充実に向けた「挑戦」と「前進」』

『この先も住み続けたいと思えるまちづくりに向けた「挑戦」と「前進」』

三つの最優先事項を柱として、まちづくりを進めてまいります。

1. 『人口減少を食い止めるための「挑戦」と「前進」』

国全体が人口減少局面に突入する中、令和4年度の出生数が34人になるなど、本町にとっても非常に厳しい現状となっていることから、安心して子どもを産み育てられる環境の整備や人の流れを呼び込むことで、人口減少のスピードを極力緩やかにとどめるとともに、活力あふれるまちを目指した取り組みを進めてまいります。

切れ目ない子育て支援の取り組みとして、子ども医療費助成事業の高校生までの拡大のほか、産婦健診・産後ケア事業の拡充、保護者負担補助事業の主食費への拡大、子どもの遊び場充実支援事業など、町職員による少子化対策プロジェクトチームからも提案のあった事業に取り組むほか、学校給食費無償化事業、大学生等通学費助成事業などを引き続き実施いたします。

また、移住定住の促進や交流人口増による新たな人の流れの構築を目指した取り組みとして、町内事業所に勤務する正規雇用者の奨学金返還を支援する奨学金返還支援事業やインバウンド旅行者の集客を促進するインバウンド観光支援事業、外国語対応も含めた観光パンフレット作成事業、令和2年度にコロナ禍により中止となっていた全国源泉かけ流し温泉サミット開催支援事業に新たに取り組むほか、移住定住促進事業、広域観光推進事業などを引き続き実施いたします。